

## 膀胱鏡検査

### 女性のためのガイド

1. 膀胱鏡検査とはどのような検査ですか？
2. なぜ膀胱鏡が使われるのですか？
3. 検査のためにどのような準備がありますか？
4. 検査はどのように行われますか？
5. 検査によるリスクはありますか？
6. 検査の後にはどのようなことが起こりますか？

膀胱鏡検査とはどのような検査ですか？

膀胱鏡検査とは、膀胱鏡という特別な内視鏡を用いてあなたの膀胱内や尿道内を観察するものです。

あなたの膀胱に何かの異常が疑われる場合に主治医は膀胱鏡を使ってあなたの膀胱内や尿道内を観察することがあります。尿道とは膀胱から体外に尿を排出するチューブの役割をします。

なぜ膀胱鏡が使われるのですか？

膀胱鏡は病気の診断をより確実にするために行われますが、以下のような症状の原因を発見するときに役立ちます：

- 膀胱コントロールの喪失（失禁）または過活動膀胱
- 繰り返す膀胱炎
- 尿中の血液（血尿）
- 尿中に異常な細胞が発見された時
- 排尿時の膀胱痛や尿道痛
- 子宮摘出術やテープを用いた尿失禁手術の際に膀胱や尿管の損傷がないかを確認するため

この検査は膀胱結石や出血源となる膀胱腫瘍、さらに膀胱の構造的異常などの発見にとっても有用です。

膀胱鏡は軟性膀胱鏡か硬性膀胱鏡の2つタイプのどちらかを使用します。

軟性膀胱鏡は細い内視鏡（太さは鉛筆ぐらい）で、尿道を通して膀胱まで挿入できます。

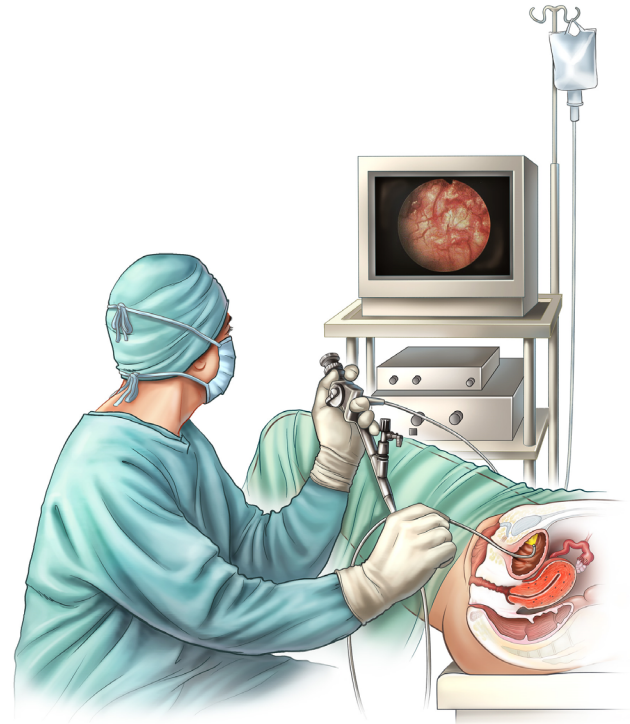
この膀胱鏡は軟性（柔らかい管状）ですから、尿道のカーブに沿って挿入が容易です。軟性鏡の先端は自由に曲げられますので、膀胱や尿道の内腔をすべて観察することができます。

硬性膀胱鏡は短くて硬い内視鏡で、色々なデバイス（医療器具）を内視鏡の中を通して挿入することができ、組織を採取する生検や、膀胱壁内への薬物注入などが可能です。時に軟性膀胱鏡を行ったあとで、再度硬性膀胱鏡による検査が必要になることもあります。

検査のための準備

外来での膀胱鏡であれば、一般的には検査前の飲食は自由です。全身麻酔下での膀胱鏡検査であれば、膀胱鏡を開始する前の8時間は飲食できません。

どのような医療行為であっても小さな損傷リスクはありますので、検査の同意書が必要です。心配なことがあれば、ためらわずに医師にお尋ねください。一般的には通常服用されてい



軟性膀胱鏡

膀胱鏡検査を行う時に医師が観察している画像をテレビモニターで見ることができる場合もあります

る薬は検査前も服用するようにしていますが、念のため投薬されている医師に確認してください。感染の有無を調べるために、検査前に検尿をするよう指示されることがあります。このため検査前の1時間は排尿しないようにしてください。

検査について

- 軟性膀胱鏡検査はあなたの症状に応じて外来診察室か手術室で行います。どちらの部屋で検査を受けるのかは、主治医が判断します。また検査は全身麻酔か局所麻酔のどちらかで行われますが、これについても主治医から事前にお話をします。
- 通常の検査時間は15分～20分ほどです。
- 検査を受ける前には病衣（ガウン）を着ていただき、下半身は清潔なドレープ（紙あるいは布）で被われます。通常は背中を下にして横になり、両足は膝をあげ左右に開いた体位をとります。尿道の周囲は消毒し麻酔の入ったゼリー（局所麻酔）を尿道に注入します。
- 次に医師は膀胱鏡をゆっくりあなたの膀胱の中に挿入します。内視鏡が入ってくるときに少し違和感があるかもしれませんが、全身の力を抜いて骨盤底筋をリラックスさせると楽に挿入されます。ほとんどの女性では問題なく施行できます。
- 膀胱の内側の壁（粘膜）がよく観察できるように、滅菌された液体を膀胱内に注入します。膀胱が液体で膨らんでくると、尿意を催したり、膀胱内の違和感をおぼえたりするかもしれません。膀胱鏡検査が終わり次第、排尿できますので安心してください。

検査によるリスクはありますか？

この検査による合併症発生のリスクは小さいですが：

- 尿路感染症
- 出血
- 膀胱や尿道の損傷などがあげられます

検査に全身麻酔を利用する場合は全身麻酔によるリスクを伴います。

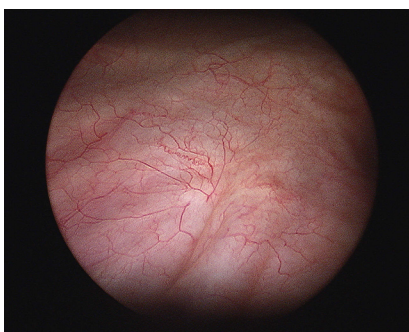
何か特別なリスクに関するご質問がある場合は主治医または担当麻酔科医がもっと詳しいお話をしますのでお尋ねください。

検査の後に予想されることは？

一時的に排尿時に軽い痛みを感じるかもしれません。時に尿中に小さな凝血塊（血のかたまり）を認めることもあります。灼熱痛が強い時は暖かいお風呂に入ったり、暖かい濡れタオルを外尿道口あたりにあてがったりすると痛みが和らぐことがあります。以上の症状は通常24時間以内に治まります。出血や痛みがひどい時、あるいはこれらの症状が2～3日以上続く時は医師に相談してください。

検査後に尿路感染症（膀胱炎や尿道炎）を起こすリスクが少しあります。そのため検査後は多めに水分をとるようにして、約3Lの水を24時間かけて飲むようにします。感染予防のために抗生剤を処方することもあります。もし排尿時痛、発熱や悪寒、嫌な臭いのする尿や混濁尿など（感染の兆候）を認めるときは、主治医に連絡してください。

通常、検査後は問題なく仕事に戻ることができますが、全身麻酔で行った場合は運転や器械などの操作が安全に行えるか麻酔科医にお尋ねください。



膀胱鏡で正常な膀胱